

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06(6772)2320
FAX. 06(6772)2327
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 佐藤 三千秋
会長ノミニー 百 済 洋 一
副会長 和田 栗 一 良
幹事 大畑 齊
会報委員長 宮崎 康 治

MAKE DREAMS REAL

夢をかたちに

2008~2009年度 国際ロータリー会長 D. K. リー

第1699回例会 平成20年9月29日(月曜日) 第10号

本日の例会

9月29日(月) 第4例会

- ◎ソング 「奉仕の理想」
- ◎卓話 「ロータリーに入って変わった事」
(担当: 三木 武志会員)
- ◎本日の献立 フランス料理

来週の例会

10月6日(月) 第1例会

- ◎卓話 「米山月間に因んで」
ゲストスピーカー
地区米山奨学委員会副委員長(大阪中之島RC)
村橋 義晃様
(担当: 金子 誠二会員)

- ◎本日の献立 軽食

先週の例会記録

9月22日(月) 第3例会

- ◎ビジター 奈良大宮RC 森下泰行氏 他1名
- ◎ゲスト 米山奨学生 カルム・サイフル・アザム君

会長挨拶

会長 佐藤三千秋

先々週の木曜日は、宮田ロータリー情報委員長リーダーのもとに情報集会在盛大に開催されました。また、先週の木曜日には第1回ゴルフ同好会が親睦委員会の皆様のお世話で開催され、台風の影響もなく、楽しい一日を過ごすことが出来まし

た。親睦に関する行事が続き、ロータリーは親睦に始まるという言葉を実感しております。次回の親睦行事、10月12日(日)ではありますが、岩崎親睦委員長が今までにない企画を考えて頑張っておられます。是非皆様ご家族の参加を多数よろしくお願ひします。

幹事報告

幹事 大畑 齊

1. 10月6日(月) 第3回クラブ協議会を開催致します。ガバナー公式訪問前の、渡辺ガバナー補佐ご臨席の協議会でございます。理事、役員、委員長各位には、ご出欠のお返事を頂くよう手配しておりますが、入会5年未満の方は、是非ご出席の程、お願い致します。
2. 11月10日(月) 東輪会合同例会が開催されます。当クラブがホストを務めますので、必ずご出席、お願い致します。出欠の回覧致します。
3. 10月11日(土) 青少年奉仕委員会正副委員長会議には、森委員長宜しくお願ひ致します。
4. 10月25日(土) 地区ロータリー財団委員長会議には、木村委員長宜しくお願ひ致します。
5. 枚岡新能のパンフレットをポストに配布しております。
6. 12月12日・金曜日、13日・土曜日開催の地区大会参加申込書(前々回例会にて配布パンフレット在中の黄色用紙)を、ご記入の上、事務

局まで、必ず、ご提出お願い致します。
7. 他クラブ例会変更通知1件掲示致します。

出席報告

大石委員

本日の会員数	44名
本日の出席者数	33名
本日の出席規定適用免除会員	15名
本日の出席率	84.62%
9月1日の修正出席率	85.00%

SAAニコニコ箱報告

松浦副SAA

- 佐藤会長 楽しいゴルフ同好会、お世話ありがとうございました。
- 郷田会員 今期第1回ゴルフ同好会で奈良国際に参加、はからずも優勝致しました。同伴プレイヤー、林さんの適切なアドバイス有難うございます。
- 尾崎会員 先日の情報集会、スッポカしました。申し訳ありません。
- 金子(誠)会員 準優勝&度重なる欠席。
- 宮田会員 情報集会、御協力ありがとうございました。
- 百済会員 例会欠席のお詫び。
- 鈴木会員 瀧田さん、写真ありがとうございました。
- 細川会員 ファンでもある郷田会員のゴルフ同好会優勝おめでとうございます。
- 松岡会員 姪の子供が無事、男児出産しました。母子共に健康でした。

委員会報告

親睦活動委員会

委員長 岩崎史郎

第1回ゴルフ同好会を9月18日(木)奈良国際ゴルフクラブに於いて開催致しました。台風の心配もなく楽しくプレー出来有難う御座いました。ここで成績を発表いたします。

優勝は、最年長の郷田さん
2位は 金子誠二さん
3位は 浅野さんでした。

ベストグロスは、浅野さんの40・44の84でした。尚、第2回ゴルフ同好会は11月6日(木)城陽C.C.で行いますので多数の参加宜しくお願い致します。

社会奉仕委員会

委員長 細川勝治

o 2660 地区より岩手・宮城内陸地震災害義援金に対する御礼がきております。

「各クラブからの義援金の総額は¥3,164,034となりました。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。」

o 先日9月20日(土)に開催されました、地区社会奉仕委員長会議(場所:大阪府赤十字血液センター)に出席して参りましたので、下記の通り概要を報告致します。

■ (議題) 地区補助金について

財団法人道的補助金委員会の前委員長横井様より、補助金申請の手順等の説明を頂きました。

■ 講演

・薬物乱用防止について

大阪府健康福祉部薬務課 麻薬毒劇物グループ課長補佐 田中 裕紀様

・献血の現状について

大阪府赤十字血液センター
献血部長 織田 美夫様

・環境問題について

地区社会奉仕委員会
副委員長 由上 時善様

ロータリー情報委員会

委員長 宮田照男

去る、9月11日木曜日、オ・セイリュウにて、開催されました第1回情報集会には、親睦委員会のご協力により、多数お集まり頂き、中身の濃い集会になりました。誠に有難うございました。美味しいお酒を頂きながら肩の力を抜いて、本音で語り合える機会は、ロータリーでも唯一の会でございます。次回、第2回情報集会、11月13日木曜日も、よろしくお願い致します。尚、当日26名の出席予定を頂いておりましたが、前日2名、当日1名の欠席の連絡を頂きました。が、他、4名の欠席者があり、料理や席の手配に無駄が生じますので、必ず、前もって、ご連絡頂きますよう宜しくお願い致します。

東輪会実行委員会

委員長 鈴木勝俊

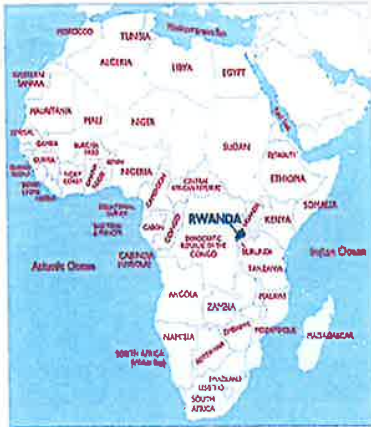
翌10月21日(火)は奈良柳生C.C.に於いて、東輪会のゴルフコンペです。我クラブは幹事クラブなので、団体優勝を目指して頑張って参りたいと思います。更なる参加申し込みをお待ちしています(現在14名)

『癒しと和解』ルワンダ大虐殺

から学ぶ

有江 健

1. ルワンダの背景



ルワンダは広大なアフリカ大陸の中部に位置し、国土が四国のほぼ1.4倍にしかすぎない内陸国です。人口は約800万人で、フツ、

ツチ、トゥワという3つの「民族」がそれぞれ、人口の約85%、15%、1%を占められています。

・ 世界を震撼させた大虐殺 (ジェノサイド)

1994年の4月6日、当時のフツ系大統領を乗せた航空機の墜落事件の直後から殺戮が始り、ルワンダ愛国戦線（現政権）が虐殺の中心勢力を掃討するまでの約100日間に、人口の10%以上に当たる100万人近い人々が惨殺されました。

ルワンダでは90年代の始めから、前フツ系独裁政権と、ツチ系難民を中核とするルワンダ愛国戦線の間で内戦が続いた。内戦で劣勢に立たされると共に、国内外からの民主化要求の高まりによって追い詰められた政権内部の急進勢力が、国軍、民兵組織、行政組織等を動員して大虐殺を実行しました。ツチ系の一般住民が、反国家武装勢力の共謀者というレッテルを貼られ無差別に惨殺されました。

国内の数箇所にある虐殺記念館には今も大虐殺の凄惨さを垣間見ることが出来る。虐殺記念館の一つはレンガ作りの聖堂である。

虐殺当時に飛び散った血が、その聖堂の天井、壁そして床の所々に真っ黒い染みとして残っていました。「教会にさえ行けば命だけは助かる」そう思って教会に逃げ込んだが、それは虐殺勢力の思いつきでした。まず聖堂の中に手榴弾が投げ込まれ、ほぼ無抵抗の人々が大きな農耕用ナイフでとどめを刺されました。

虐殺記念館に並ぶ被害者の頭蓋骨



2. REACHの活動

REACH は、このような虐殺が行われたルワンダで「和解と癒し」の働きを推進するNGOです。この虐殺により人々の心に深い傷（トラウマ）が刻まれ、痛ましい過去から前進することができない人々に、癒しと和解のセミナー等を通して、ルワンダのコミュニティが 1994 年虐殺の悲劇から立ち直り、当時の暴力により分断させられた人々への信頼関係を再建できるように支援しています。

なたで頭部を傷つけられた少年



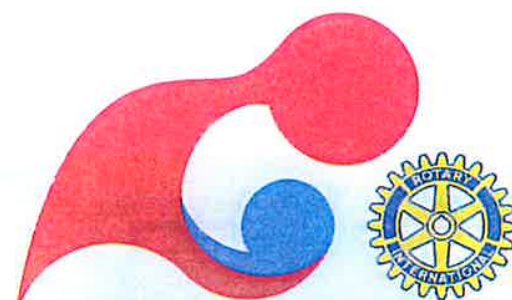
■ 「癒しと和解セミナー」

今回実施された3日間のセミナーには63名の女性（特にジェノサイド／虐殺の生存者である女性達とジェノサイドの加害者を家族に持つ女性達）が対象であった。

セミナーでは：

ルワンダの歴史を学びながら、どの様にして国民の間に分断が深まり、暴力紛争が引き起こされるに至ったのか、また、ルワンダ紛争における教会の責任について省察することに重点が置かれた。そののち人々を虐殺に導いた罪について学んだその罪とは、ベルギー植民地政府による分断統治に加担してしまったという罪。独立後には、フツ至上主義を掲げた独裁政権におもねり、国家による様々な不正義に対して沈黙してき罪。また、「フツ」か「ツチ」かといった偏狭な集団アイデンティティをなかば絶対視し、結果的に様々なレベルでジェノサイドに関与してしまったという罪であったことが振り返り、今回のセミナーの焦点は、ルワンダ紛争の背後に、これらの罪があったことを学び、それらを主体的に告白することであった。それは、参加者一人ひとりにとって大きな痛みを伴うプロセスであった。しかし、和解への長い道のりを歩いていく彼・彼女らにとって、欠かすことのできないプロセスです。

REACHの創設者カリサ牧師は、「赦しと和解の鍵は、加害者を赦し、愛することです。そこにのみ真の平和がもたらされるのです。」と語っています。



夢をかたちに

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか